

## 令和7年度第2回愛媛県交通活性化中予地区協議会 開催結果

- 1 会議名称 令和7年度第2回愛媛県地域交通活性化中予地区協議会
- 2 開催日時 令和7年6月10日(火)13:30～16:20
- 3 開催場所 愛媛県中予地方局7階大会議室
- 4 出席者 委員 鉄道関係:9名/バス関係:15名/航路関係:8名  
事務局 8名
- 5 協議結果

### (1) 地域鉄道関係

生活交通改善事業計画について ～令和7年度分～

○原案通り推進会議会長に報告することを全会一致で承認した。

〈主な意見〉

#### (伊予鉄道株式会社)

- ・全国交通系 IC カードである「ICOCA」を導入し、利便性の向上を図っている。
- ・設備の更新に関しては、定期点検の結果等に基づき優先順位をつけて実施している。

#### (四国旅客鉄道株式会社)

- ・コロナを経て、働き方改革等の影響もあり、ビジネスユースが戻っていない。
- ・インバウンド需要は好調に推移している。
- ・昨年9月に開業した JR 松山駅舎のテナントは、開業以来多くのお客様にご利用いただいている。

### (2) 生活バス関係

地域間幹線系統確保維持計画について～令和8年度分～

地域間幹線系統確保維持計画の変更について～令和7年度分～

○原案通り再編協議会長に報告することを全会一致で承認した。

〈主な意見〉

#### (ジェイアール四国バス株式会社)

- ・2024年4月に適用されたバス運転士の改善基準告示により、乗務員の休憩時間の確保等を踏まえてダイヤ改正を行った。運転士不足も深刻である。路線バスの維持を優先しており、利益が出やすい高速バスは運休している。

#### (伊予鉄バス株式会社)

- ・一番の課題は運転士不足である。運転士の初任給を引き上げたことで、応募状況に改善の兆

しが見られるものの、応募者の平均年齢は 40 代後半から 50 代が中心であり、今後は若い世代の獲得に注力していきたい。

- ・昨年全国で初めて自動運転バスを導入した。将来的には運行台数を増やし、運転士不足に対応できるよう備えていく。

### (3) **離島航路関係**

離島航路確保維持計画について～令和8年度分～

○原案通り推進会議会長に報告することを全会一致で承認した。

〈主な意見〉

#### (中島汽船株式会社)

- ・昨年末から複数の船員が退職し、深刻な船員不足に陥り減便を余儀なくされたが、新規採用及び高速船の購入を進め、10 月を目途に減便している高速船をもとの便数で再開できる見込みである。

#### (有限会社新喜峰)

- ・経費削減のため、メンテナンスの時期を工夫したり、普段の整備を自分たちで行ったりしている。
- ・島民が減っており、移住等の取組みも考えていく必要がある。

## 6 その他

- ・傍聴者なし